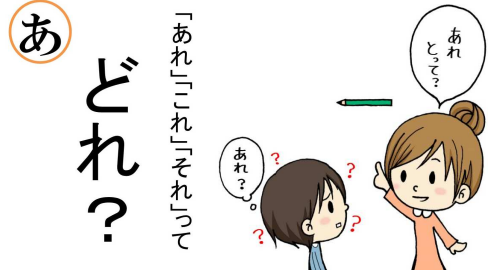


課題になっている行動 (気になる行動)

指示を理解することが難しい
課題・活動が難しい



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報指示が抽象的である ■ 必要な支援がない本人にあわせた指示が無い <input type="checkbox"/> その他	■ 受容コミュニケーションの特性：曖昧な指示、抽象的な言葉の理解が難しい。 ■ 社会性・対人関係の特性社会的な状況で判断が難しい ■ 関係理解 (意味理解) ・一般化の困難さ：抽象的な意味理解が難しい ■ 想像思考の困難さ	<input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある ■ 自分流の気づき・考え方をもち指でさされている部分のイメージがない <input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること
■ 行動前の状況※ 明確な指示がない。		■ 行動後の状況・結果※ 理解できない、行動できない。

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
	具体的な言葉の指示は理解できる 文章、絵、写真の理解	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？	本人の特性にあわせた支援は？	本人に伝える・教える部分は？
・本人が理解できる具体的な指示で伝える。 ・場面状況によっては、文章や絵などで伝える。	・抽象的な指示ではなく本人がイメージできる具体的な指示で伝える。「あれとって」よりも、「ペンをとってください」で伝える。	

解説と支援の方向性について

抽象的な指示の理解が得意ではありません。「あれ」「これ」「こそ」「それ」が何を指しているかわからない人もいます。また、比喩や慣用句なども理解することが難しくかったり、字義通り解釈したりする人もいます。「あれとって」よりも、「ペンをとってください」と伝えた方がわかりやすいです。